

いまは今
vol.150

発行 今井町町並み保存会
発行日 平成24年12月1日
電話 0744-22-1128
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp

◇ご意見・ご感想は
今井まちづくりセンターまで

奈良市役所有志町歩き

10月28日(日)奈良市役所の職員有志による町歩きが開催されました。今回は「奈良市職員、そして行政がまちづくりをしていく中で、どうやって地元の方々を協働していくのか」をテーマに、今井のまちづくりが参考になるといふことで行われたものです。

始めに華菱の挨拶で西川相談役から、若い職員たちが自ら当日は作業衣を着て町歩きをしたいという申し出があったことに驚かれると同時に、この町が大切にしなければならぬものを理解されていることに感心して、その気持ちを大切にしてほしいと若い職員たちにエールを送られました。

町歩きの中では、井上芳光理事が、かつて自ら行政の中におられたことをふまえ、今井の学校通りの都市計画道路が住民の意志と離れて計画が進んでいったことや、一度計画されたものを白紙状態に戻すまでには30年近い年月がかかることを熱く語られました。

センターでの若林会長の講義では、メディアが取り上げようとする今井の姿は古い町並みで空き家が多く、住民の多くは高齢者と「紋切り型」である。しかし、高齢者は今井に限った問題ではなく、それよりも若い人も含めて町に住んで活躍している人の姿を細かく取りあげることが町のPRにつながっていると話されました。

今井町と奈良筆との関わり

「筆莊そろ里」さんに聞く

今井町町並み保存会が主催する「町歩き」では、「大和今井の匠」として、さまざまな伝統工芸を紹介しています。先日の「奈良まほろばソムリエ検定体験学習



プログラム」では受講生の方々に奈良筆制作の実演を見ていただきました。奈良筆と今井町とはあまり関係がないように思われるかもしれませんが、実は深い繋がりがあります。この点について、今回実演をしてくださった「筆莊そろ里」さんにお話をうかがいました。

筆莊そろ里は平成22年1月7日に独立開業し、ご縁で今井町に店舗を構えることになりました。

奈良筆の始まりは日本の筆の始まりです。今井町は江戸時代の伝統的建造物群保存地区

として有名ですが、実は奈良筆発祥地としても大切な地域なのです。奈良時代〜平安時代に弘法大師空海が遣唐使として現在の筆作りの技法を中国より持ち帰り、今井町の住人「坂名井清川」に技術を伝授し嵯峨天皇に献上したと文献にも記されておりです。

原点(基本)にもどるという意味ではここ今井町に拠点を置けたのは偶然ではなく必然なのかもしれません。

奈良筆筆匠が製作した筆の軸に私が奈良にて修行し習得した技術で心をこめて銘を手彫り彫刻して販売いたしております。

今井の店舗は小さいですが、初心者から専門の書道家まで、そして水墨画・俳画・日本画・絵手紙用筆等満足いただけるような品揃えをしてご説明しながら展示小売販売もいたしております。

「そろ里」さんは、「書道は日本人の余暇の過ごし方としてこれまでは統計では常に上位ランクインされておりましたが、昨今書道人口は減少の一途をたどっている」と述べ、その原因として「趣味の多様化や少子化、そしてゆとり教育による書道教科の排除、またパソコン・携帯電話等の普及による活字離れとさまざま言われていますが、書道人口減少の原因は決してこれだけではない」のでは?と考えておられるようです。

今年は何賀状に、毛筆で一言書き添えてみると、アクセントになるかも知れません。

いまいの人々は

短歌 一首

西川和義(小網町)

いろいろと 想いで深き 五十年

妻は静かに 茶をたてており

二人とも義理の両親に仕え、人には言えぬ苦勞がありました。今年、金婚式を迎えてやっと二人だけの静かな生活が出来るようになりました。

※原稿募集(「いまいの人々は」のお知らせ)今井町並み保存会では、今井地区住民の皆さんが詠まれた短歌、俳句、漢詩といった作品を「いまいは今」に掲載しています。作品の掲載を許可いただける方がおられましたら、今井まちづくりセンターへ御一報下さい。

東地区公園の愛称が決定しました

今井町東地区の整備も、いよいよその完成形が見えてまいりました。先日、回覧板でもまわっていました。ここに建設される「東地区公園」の愛称が決定いたしました。

今井町自治会が中心となって募集したところ、33点もの応募があったそうです。各区長さん達による厳正な審査が行われた結果、優秀作品に北口町・中井那美さんの「今井蘇武橋公園」が、佳作に北口町・中井良香さんの

「飛鳥川蘇武公園」が選ばれ、11月12日に西川禎俊・今井町並み保存住民審議会会長より記念品が手渡されました。

なお、今回決定した名称は

後日自治体で決定する正式名称とは異なり、私たち住民が決めた「愛称」です。こういったお仕着せの名前以外の「愛称」を、みんながくつろぐ公園につけるといふところにも「自治都市・今井」の伝統が息づいているのだなあと感じました。

今井町の切手が発行されました



現在、今井郵便局で「權原今井町散策」と題された切手が販売されています。「称念寺と今井の町並み」というサブタイトルがつけられたこの切手は、

日本郵便の「オリジナル切手作成サービス」により作成されました。サンプルが今井郵便局にあるそうですので、年賀状を投函する時にでもご覧になられてはどうでしょうか。

西光寺・鐘樓の再建工事が

現在行われています

今、西光寺では鐘樓再建工事をされています。本年春には「本堂大屋根の瓦葺き替え修理、並びに耐震工事」が終了され、来年の春



頃には新しい鐘も設置されて出来あがる予定とお聞きしています。今年の除夜の鐘は養生のため聞けないのは寂しいですが、来年にはどんな音色を響かせてくれるか楽しみです。我々の心の継承を支えてもらっている寺院が立派に維持していただけるのはありがたいことですね。寺内町としてお寺をお守りいただく御住職はじめ、皆様の高い意識が繋がっている賜物だと感じました。

今井往来

12月中下旬 まちづくりセンター

年末大掃除

12月28日(金)〜30日(日)

年末警戒・夜回り

12月31日(月) 大祓式・除夜祭り

編集後記

今井町が世界に発信されています。

海外生活が長い友人からの「是非、今井町を見学したい」とのこと。ビックリです。日本の放送を外国でリアルタイムに見ていて映し出される「今井町」の姿に、日本の良さを再発見すると共に懐かしさを感じた。一緒にいた外国の人も、温もりの感じられる呼吸している落ち着いた町並みは素晴らしいと誉めてくれたと興奮気味に話してくれました。そして我が町に来て、「寄せてもらってよかった。心をふるわせてくれる」と喜んでくれ、また必ず来るよと約束して帰ってくれました。拡がりを感じると同時に、我が町を愛する気持ちが益々湧いてきた一日でした。